

令和3年度 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和4年1月26日（水）

場所：大阪府立芦間高等学校 会議室

委員：笹山幸子、田中常雄、宮坂政宏、山崎裕也、高松真由美、榎理砂（敬称略）

事務局：塩崎靖子（教頭）、菊地淳（事務長）、角山愉紀雄（首席）、亀井絵里（首席）

武田真紀子、諸木忠治、佐敷美沙、裏野健太、小原浩昭、西脇慎治、北野早苗、乙井俊輝
伊藤義孝（校長）（敬称略）

出席者：笹山幸子、高松真由美、榎理砂（敬称略）

欠席者：田中常雄、山崎裕也、宮坂政宏（敬称略）

事務局：菊地淳、角山愉紀雄、亀井絵里、武田真紀子（欠席）、諸木忠治（欠席）、佐敷美沙（欠席）

裏野健太（欠席）、小原浩昭（欠席）、西脇慎治（欠席）、北野早苗（欠席）

乙井俊輝（欠席）、伊藤義孝（敬称略）

次第

13：00～ 昼食（食堂メニュー試食）

13：25～14：05 授業見学（5限目）2年英語・1年国語総合

14：10～14：20 休憩

14：20～16：20 協議

I 報告事項

1 令和3年度 学校教育自己診断について

・全般的に数値が下がっている。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあった。

・教職員について下がっている割合が多いが、異動に伴う影響も少なくない

（意見）

・教職員に数値が何故下がっているのかをしっかりと検証した方がいい。自分自身の取組みなのか、分からないから肯定的な意見が減少したのか。

2 生徒アンケートより

・ほぼ、70%近い肯定的な値となっていた。

・自らの取組む姿勢等について、低めに評価されているので、信ぴょう性については問題ない

・新型コロナウイルス感染症の影響で各種行事が中止もしくは、形態を変更して実施したにも関わらず、大きく低い数値にはなっていない。状況に応じて取組んだためであろう。

3 進路状況について

・概況について説明

・今後、一般試験に向け私立大の中堅難関校の成果が出てくるはずである。

II 協議事項

1 令和3年度 学校評価について

・概要について説明。

・大まかな評価指標と照らし合わせて○や△を記載している

・学校教育自己診断の結果については、大きな項目として主となる要素を記載した。

（授業・進路・教育相談・科目選択・生徒指導・行事・人権）

・本年度の目標について、評価指標と照らした自己評価の説明。

（協議員より）

説明に関して、了承のうえ承認

2 令和4年度 学校経営計画について

中期的目標（3か年計画）について、項目別に説明

・確かな学力の育成と教員の授業力向上

1人1台端末の活用について新規設

学校経営推進事業計画については、次年度完成年度のため継続

旧課程と新課程における観点別評価項目について新設

・夢と志を育むキャリア教育と進路ガイダンス機能

「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の再構築を新設

（協議員より）

非常に面白い内容ではあるが、組織的に行うことが重要になる。PTの内容をできるだけオープンにして情報を流しながら行うことが鍵を握る

感染症収束に向けての施策について新設

進路指導に関連して、進路主導指導の計画的な講習や個別指導項目を新設

進路に関数各種データ分析を新設

・安全安心な学校づくりと教育相談

生徒指導関連項目に関しては継続（遅刻、挨拶、服装、頭髪等指導）

薬物乱用防止に関する項目を新設

（協議員より）

薬物乱用防止については、どのように推進していくのかと質問

→2年で薬物乱用防止教室を実施しているが、全ての学年で毎年薬物について考えられるようにする。外部人材等を活用することも含めて推進していく。

いじめの早期発見、人権課題に関する項目を新設（SNS指導、いじめを含めた人権指導）

共生推進教室や教育相談に係る内容については継続

・広報活動の充実

HPを活用した広報強化（特にスマホ画面の修正）のための施策を新設

中学校教員対象説明会の実施について新設

・生徒会活動の活性化

学校説明会等への参画は継続

学校行事への積極的な参画とボランティア活動の推進を新設

（協議員より）

ボランティアなどは、小学校の図書館などにおける読み聞かせ事業を提案

PTA、学校が連携して実施していくことに対する助言

・働き方改革

業務のスクラップ&ビルドの推進項目を新設

分掌間連携とノー会議デー設定について新設

中期的な目標について、質疑等を行いながら了承のうえ、承認

3 コロナの出席停止状況説明 現状の説明

4 その他 特になし